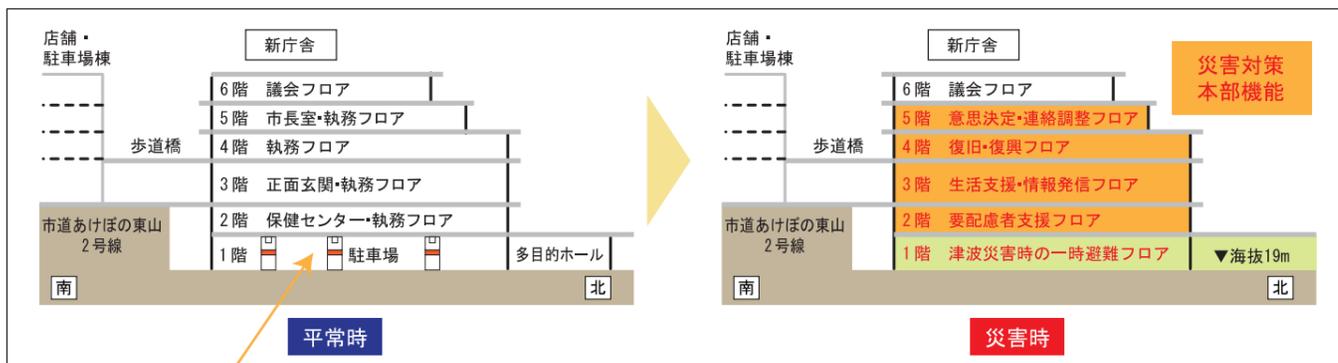


人と地域を大切にする 未来に“つなぐ”みんなの庁舎

“命をつなぐ”災害に強い庁舎

■防災拠点としての庁舎

- ・災害時に、速やかな災害対応拠点への機能転換が可能
- ・津波災害発生時の一時避難スペースを確保
- ・高い安全性の確保を目指し免震構造を採用
- ・ライフラインのバックアップ整備による業務継続性の確保



1階柱頭免震構造(球面すべり支承)

庁舎は地震発生直後から災害対策本部を設置し業務を行う必要があることから、安全性、機能性、被災後の機能維持に優れた免震構造を採用しています。

庁舎棟の1階の柱に免震装置を設置する1階柱頭免震構造(球面すべり支承)を採用することで、2階以上が免震構造となり、地震の際には、庁舎棟の2階以上の揺れを軽減させ、それにより構造体だけでなく内外装材や設備機器の損害や什器等の転倒を防止することで、庁舎としての機能維持を図っています。

[球面すべり支承とは]

振り子の原理を利用し、地震時にはスライダーが上下の曲面状のすべり板の間で振り子のように移動し、地震エネルギーを吸収しつつ、建物を元の位置に戻します。



オペレーションルーム(災害対応拠点)

災害情報を一元管理し、災害応急対策を的確かつ迅速に実施するため、5階危機管理局の隣に、災害時の拠点となるオペレーションルームを設置しています。

また、各地から集まってくる様々な被災現場の状況や気象データなどの情報を効率的に収集、視覚的に共有ができるオペレーションシステムを導入することにより、正確な情報発信、スムーズな災害対応につなげます。



災害時の庁舎機能の維持

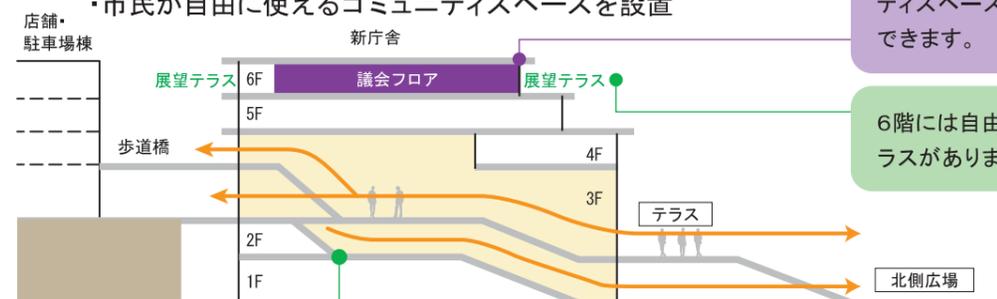
災害に強い庁舎として、建物の構造のみならず、各種インフラの継続性についても考慮をし、業務継続機能を強化しています。

電気	2回線受電(商用電源)
	非常用発電機(72時間確保)
	太陽光発電(蓄電池)
	電源供給車用の接続盤設置

給水	2系統(上水道)
	受水槽の設置
	雨水利用(トイレ)
通信	2系統通信網(有線・無線)
	アナログ回線の電話機を配置
	重要業務を行うPC等への電源確保

“人をつなぎ”交流を生むみんなの庁舎

- 敷地高低差を生かした交流モールを中心とした庁舎
- ・3階交流モールに、カフェ、物販機能を設置
- ・交流モールを中心に、1階から4階をスムーズにつなぐ
- ・市民が自由に使えるコミュニティスペースを設置



開かれた議会

本会議の様子は、議会ロビーや3階コミュニティスペースでもモニターで視聴することができます。

6階には自由にご利用いただける市民展望テラスがあります。

交流モール

主に建物の東側を「交流モール」とし、市民の方の利用を想定しています。交流モールは通り抜けができ、外部のテラスや広場につながっています。交流モール内には、市民の皆さんが気軽に立ち寄り使うことができるコミュニティスペースやカフェ・売店があります。



“心をつなぐ”みんなに優しい庁舎

■誰もが使いやすい庁舎

- ・ユニバーサルデザインの徹底

子育て世代の方も安心

授乳室やキッズスペースを設置。トイレには、ベビーカーごと入れる広めのトイレのほか、おむつ交換台や着替え台、ベビーチェアもあります。また、キッズトイレが2階にあります。

ゆずりあい駐車場

歩行困難な高齢の方等もご利用いただけます。



バリアフリートイレ

各階の東側にバリアフリートイレを設置。階ごとに、機能の異なる設備を交互に配置しています。



バリアフリートイレ設備のご案内

	し尿すべり	オストスイート	介助用ベッド	着替え台
6F	右	〇	〇	〇
5F	左	〇	〇	〇
4F	右	〇	〇	〇
3F	左	〇	〇	〇
2F	右	〇	〇	〇
1F	左	〇	〇	〇

“信頼をつなぐ”プライバシーとセキュリティを守る庁舎

■セキュリティと管理区分が明確で活発な利用を促進する庁舎

- ・窓口機能に応じたプライバシーの保護
- ・プライバシーに配慮した相談室や窓口カウンターブース
- ・執務エリアを明確に区分し、セキュリティを確保



“明日につなぐ”歴史・文化を大切にする柔軟性がある庁舎

■歴史・文化を継承する田辺市ならではの庁舎

- ・紀州材を活用した木のぬくもりが感じられる庁舎
- ・5市町村の合併を表現し、熊野古道の木々を連想させる5本の木格子
- ・自然の力を生かした環境に配慮した庁舎
- ・将来の組織改編等に柔軟に対応できるユニバーサルレイアウト



ごあいさつ



田辺市長 真砂 充敏

このたび、待望の市役所新庁舎が完成の運びとなりました。市民の皆様をはじめ関係各位のご理解、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

昭和45年度に建設された市庁舎は、長きにわたり田辺市のまちづくりの中心的役割を果たしてまいりましたが、老朽化と耐震性の不足、巨大地震発生時の津波の想定浸水域にあり、また市民総合センターも同様の状況にあるなど、対応が急務となっております。そのような中、災害対策本部機能や協働のまちづくりの拠点機能を有する新庁舎の整備に鋭意取り組んできたところでございます。

いよいよ5月から新庁舎での業務が開始し、新庁舎を拠点とした新たなまちづくりがスタートいたします。

私は、この新庁舎が、有事の際の市の司令塔として市民の皆様のお安全と安心のよりどころとなり、また、さまざまな時代の変革にもしっかりと対応し、集い親しまれる施設として、未来につながるまちづくりの重要な拠点となるものと確信しています。引き続き、さらに質の高い行政サービスを提供できるよう職員一丸となって取り組んでまいり所存です。

結びに、改めまして新庁舎整備に当たりご尽力を賜りました全ての皆様に深く感謝申し上げます、ごあいさつといたします。



田辺市議会議員 尾花 功

このたび、田辺市の新たなシンボルとなる新庁舎がめでたく完成の運びとなりましたことを、市議会を代表いたしまして心からお礼申し上げます。

建物の老朽化、地震発生時の耐震性や津波への懸念を背景に、災害時においても庁舎機能を維持し、さらには復旧・復興の拠点としての役割を果たせるよう、新しい庁舎建設に向けた歩みが始まったのは、市町村合併を果たしたその数年後のことでした。そして、これまでの間、候補地の選定や移転先既存建物の解体、庁舎建築工事と事業が進められ、市議会といたしましても特別委員会を設置するなど、事業の進捗の中で鋭意調査、提言を行ってまいりました。

そうした中で、晴れてこの日を迎えられましたことは誠に幸甚の至りであり、市民の皆様のお多様なご理解とご協力に改めて感謝申し上げます。

新庁舎が皆様のお安全・安心を支える拠点として、そして、心のよりどころとして末永く親しまれるよう、引き続き努力を重ねていく所存でございますので、皆様のお変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、新庁舎建設に当たりご尽力賜りました関係各位に厚くお礼申し上げます、ごあいさつといたします。